

2022地区バミリ新聞

地区講習会の様子

今年度の8月アブラホールにて、地区大会に備えて、装置・音響や照明・舞台などの確認や操作などの講習を行いました。一つ一つ何に繋がっているか、何をしたらどう影響になるのかを一から説明を聞き、メモをとることに集中しました。分からないことは、説明してくれている人、または他校の人に聞きました。例年、アブラ小ホールでの地区大会が多い中、今年度は大ホールを使用できるということで、大きな舞台に胸が高まりました。

地区大会の様子

大きな舞台に負けていない大きな装置を立てている学校さんが多いように感じました。加えて、上演時間も昨年度までより長い学校さんも多かったです。5校開催でしたが、各校さんは全力で皆で協力して一生懸命、最初から最後まで頑張れたと思います。

I地区をどんな地区にしたいか

皆で協力して、他校で公演して、公演の感想共有をするなどの機会を増やしたいです。今年度、I地区内で集まってミニゲームやグループに分かれて、互いの劇を見るといった機会もありました。その機会をより多くの学校さんと共に、さらには他の地の高校さんともやってみたいです。大阪府の全ての地区に行けるかは分かりませんが、実現するように最善を尽くしたいと思います。皆さんの協力が必要なので、よろしくお願い致します。

以下、個人の感想です。

地区大会の感想

本番が始まる寸前では、「自分はしっかりやれるだろうか」、「皆に足を引っ張らないだろうか」などの不安はありました。本番が始まってセリフの間違いや上手と下手の入場や退場のミスは無視して、目の前のことだけをただひたすら頑張るのみでした。本番が終わったあとはやりきった感より不安の気持ちが強かったです。ミスはあんまりしてなくて、自分の役は全力でやりました。それでも不安の気持ちは強かったです。理由は、「これで良かったのだろうか」、「これで府大会に勝ち進めるのだろうか」などの不安がありました。それでも拍手の音が聞こえて、皆は笑えてて気持ちが落ち着きました。

来年度の目標

来年ではより一層上を目指して、キャラクターや道具なども一つ一つにこだわって、曲や物語もそれぞれに合うものをしっかり考えて、その形を台本にして、それを何回も読みを通して、セリフを変えて、半立ちして、動きを確認して、本立ちで総仕上げをして、小道具や大道具をより本物にする、全てが完了したら、本番のように全力で頑張って、時間を意識した上で望みたいと思います。

I地区 生徒連絡会

美原高校 堀恭一